

後発医薬品(ジェネリック医薬品)アンケート調査結果(速報)のポイント

【患者】

- ジェネリック医薬品について(n=1,425)
 - ・聞いたことがある 約96%
 - ・(うち)使ったことがある 約92% (n=1,373)
- ジェネリック医薬品を使用して良いと感じたこと(n=1,262)(複数回答)
 - ・窓口での支払額が減った 約68%
- ジェネリック医薬品に変更したきっかけ(n=1,018)(複数回答)
 - ・薬局からの説明 約82%
- 薬局でジェネリック医薬品を勧められた場合の考え(n=1,425)
 - ・勧められたとおり、ジェネリック医薬品にする 約44%
 - ・先発医薬品かジェネリック医薬品かは、こだわらない約23%
- ジェネリック医薬品を使用するにあたって重要だと思うこと
(n=1,170)(複数回答)
 - ・効果(効き目)が先発医薬品と同じであること 約82%

【薬局】

- 患者への後発医薬品の説明を行う時期(n=868)(複数回答)
 - ・初回の来局時 約92%
- 患者への説明内容(n=868)(複数回答)
 - ・窓口負担の軽減 約95%
- 後発医薬品を採用するとき重視すること(n=868)(複数回答)
 - ・先発医薬品と適応症が一致していること 約75%
 - ・メーカー・卸売業者が十分な在庫を確保し、安定的に供給されていること 約72%
 - ・迅速な納品の体制が整備されていること 約62%

【病院・病院医師・診療所】

- 院外処方箋について、後発医薬品の処方に関する考え
(病院医師n=235、診療所n=331)(複数回答)
 - ・後発医薬品を積極的に処方する
病院医師約71%、診療所約41%
- 後発医薬品を積極的に処方する理由
(病院医師n=225、診療所n=293)(複数回答)
 - ・患者の経済的負担を軽減できるから
病院医師約80%、診療所約76%
 - ・医療費削減につながるから
病院医師約71%、診療所約55%
 - ・患者が後発医薬品の使用を希望するから
病院医師約40%、診療所約58%

【共通(薬局・病院・病院医師・診療所)】

- 不安感がある場合に不安感を抱いたきっかけや理由、内容等
(薬局n=638、病院n=162、病院医師n=179、診療所n=325)(複数回答)
(薬局・病院医師・診療所)
 - ・添加物の違いに不安感がある
薬局約52%、病院医師約65%、診療所約68%
- (病院)
 - ・供給不足による院内採用薬の変更 病院約54%

【保険者】

- 後発医薬品の使用促進に向けた取組の実施(n=252)
(複数回答)
 - ・実施している 約97%
 - ・(うち)差額通知を実施している 約89% (n=245)
 - ・(うち)切替効果の検証を実施している 約61% (n=219)